

CASBEE[®]新潟 | 評価結果



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

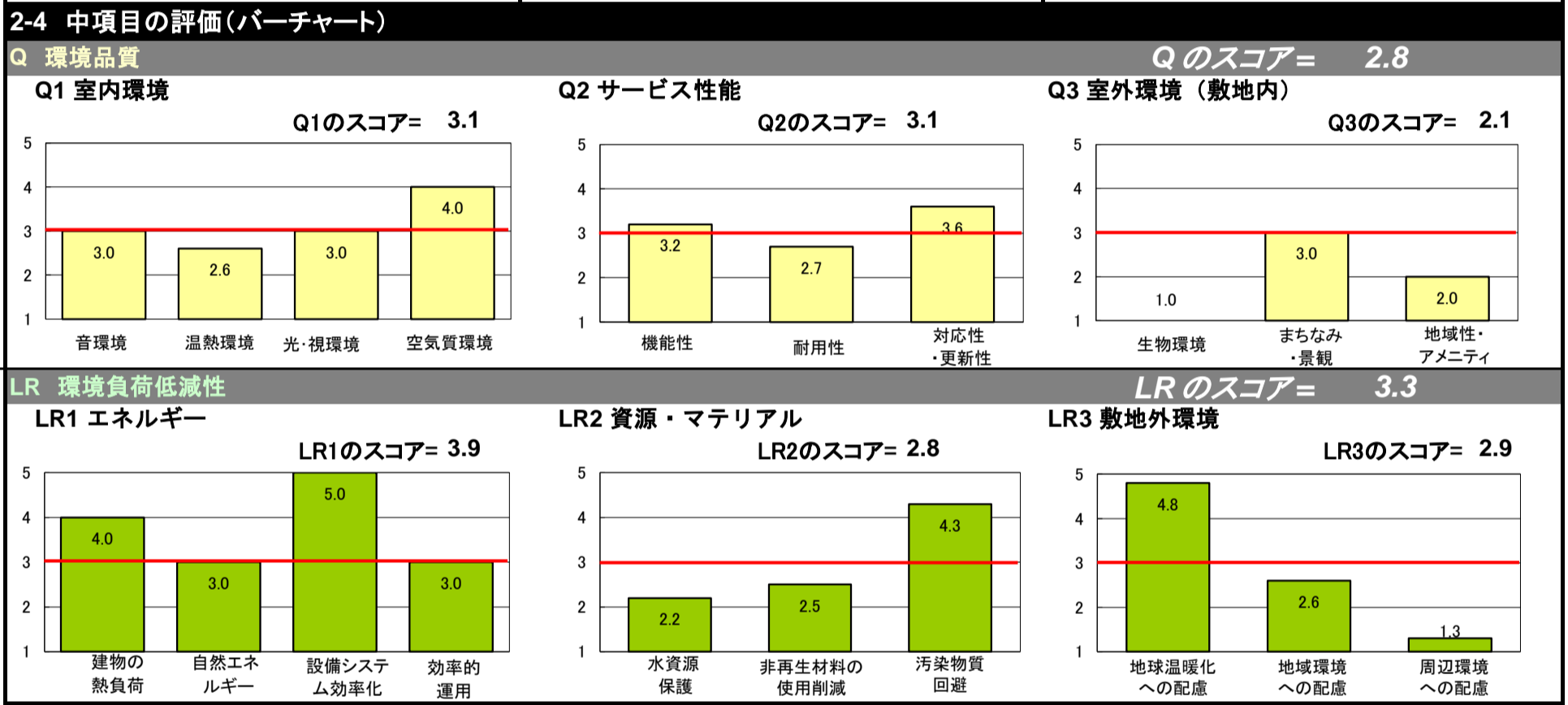
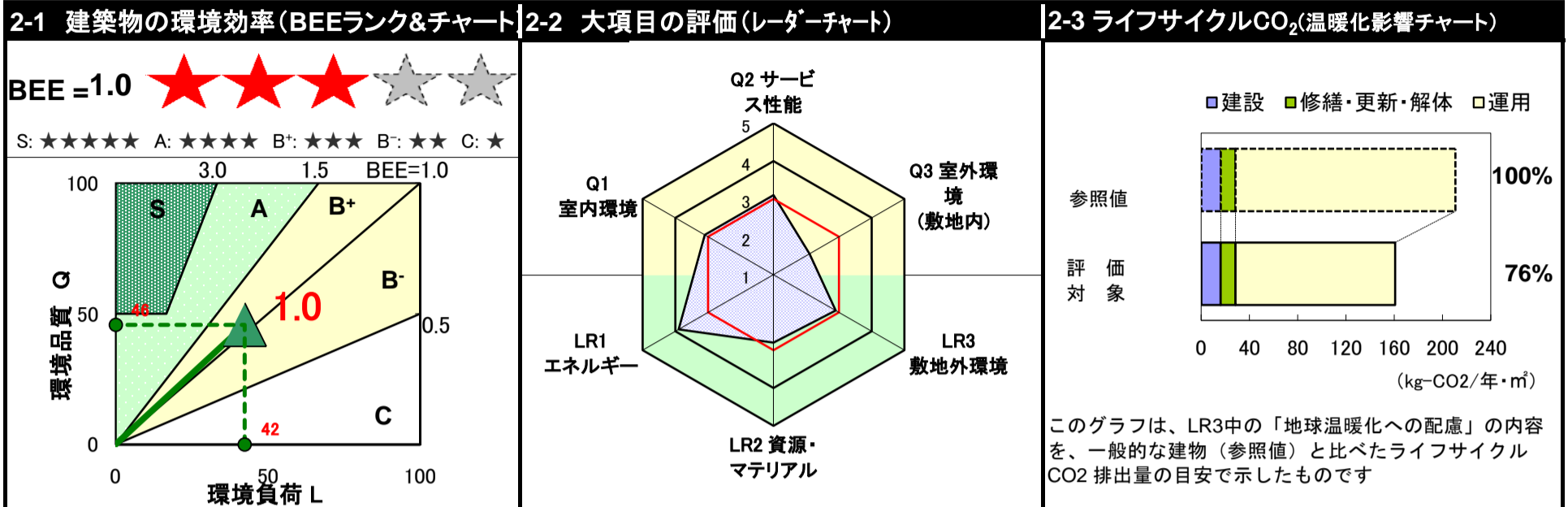
1. 建物概要												
建物名称	ウオロク鳥屋野大島店											
建設地	中央区 鳥屋野大島土地区画整理事業地内57街区											
用途地域	準工業地域											
建物用途	物販店											
竣工年	2012年10月 予定											
敷地面積	8,177.49 m ²											
建築面積	2,495.41 m ²											
延床面積	2,348.73 m ²											
階数	地上1F											
構造	S造											
評価の段階	実施設計段階評価											
評価の実施日	2012年4月10日											
2. CASBEE新潟の評価結果												
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46}{42} = 1.0$									
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★												
3. 新潟市の重点項目の評価												
1. 長寿化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>バリアフリー</td><td>Q2.1.1.3</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>維持管理</td><td>Q2.1.3</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>更新性</td><td>Q2.3.3</td><td>3.0</td></tr> </table>	バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0	維持管理	Q2.1.3	3.0	更新性	Q2.3.3	3.0
バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0										
維持管理	Q2.1.3	3.0										
更新性	Q2.3.3	3.0										
2. 地震への取組み かけがえない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 2.8		<table border="1"> <tr><td>耐震・免震</td><td>Q2.2.1</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>信頼性</td><td>Q2.2.4</td><td>2.6</td></tr> </table>	耐震・免震	Q2.2.1	3.0	信頼性	Q2.2.4	2.6			
耐震・免震	Q2.2.1	3.0										
信頼性	Q2.2.4	2.6										
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>雨水排水負荷低減</td><td>LR3.2.3.1</td><td>3.0</td></tr> </table>	雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0						
雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0										
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.5		<table border="1"> <tr><td>建物の熱負荷抑制</td><td>LR1.1</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>自然エネルギー利用</td><td>LR1.2</td><td>3.0</td></tr> </table>	建物の熱負荷抑制	LR1.1	4.0	自然エネルギー利用	LR1.2	3.0			
建物の熱負荷抑制	LR1.1	4.0										
自然エネルギー利用	LR1.2	3.0										
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 1.7		<table border="1"> <tr><td>節水</td><td>LR2.1.1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>リサイクル材の使用</td><td>LR2.2.4</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>再利用可能性向上</td><td>LR2.2.6</td><td>3.0</td></tr> </table>	節水	LR2.1.1	1.0	リサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0	再利用可能性向上	LR2.2.6	3.0
節水	LR2.1.1	1.0										
リサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0										
再利用可能性向上	LR2.2.6	3.0										
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		<table border="1"> <tr><td>生物環境の保全・創出</td><td>Q3.1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>敷地内温熱環境の向上</td><td>Q3.3.2</td><td>2.0</td></tr> </table>	生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0	敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0			
生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0										
敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0										
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.5		<table border="1"> <tr><td>まちなみ・景観への配慮</td><td>Q3.2</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>地域性への配慮、快適性の向上</td><td>Q3.3.1</td><td>2.0</td></tr> </table>	まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0	地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0			
まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0										
地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0										
4. 新潟市の重点項目の配慮事項												
新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。 本計画では、床の段差をなくしたり、店内通路幅を広めに確保するなどバリアフリーについて配慮を行っています。 また、オール電化にすることにより温暖化対策にも配慮を行っています。												

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)



2-5 設計上の配慮事項

<p>総合 建物の高さを抑え、周辺住宅からできるだけ離して配置した。周辺交通を考慮し利用しやすい駐車場計画とした。騒音発生機器は、住環境を考慮してできるだけ住宅から離して設置した。</p>	<p>その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p>Q1 室内環境 来客者に対し、快適な室内環境となるよう照明計画、空調設備のゾーニング、建築基準法による換気設備等の配置に配慮した。ただし、商品の鮮度を害さないよう調整している。</p>	<p>Q2 サービス性能 来客者の回遊性を考慮し、通路等空間を確保するよう配慮した。(身障者を含む)</p>
<p>LR1 エネルギー 夏場の日照及び西日、冬場の風向き等を考慮し建物の配置を行い、運営に係るエネルギー全般の抑制に配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料の使用に注意を払った。</p>
	<p>Q3 室外環境 (敷地内) 夜間の駐車場照明において、住宅側に光が差し込まないように配慮した。</p>
	<p>LR3 敷地外環境 オール電化にすることにより、はだか火を使用しないこととした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される